

## 5. 現地調査風景



写真 1

【河川上流調査】

大戸川

1994. 6. 28

河川上流では砂防堰堤が比較的多かった。堰堤下ではカワムツ、カマツカ、ドジョウ、アカザなどを採集した。

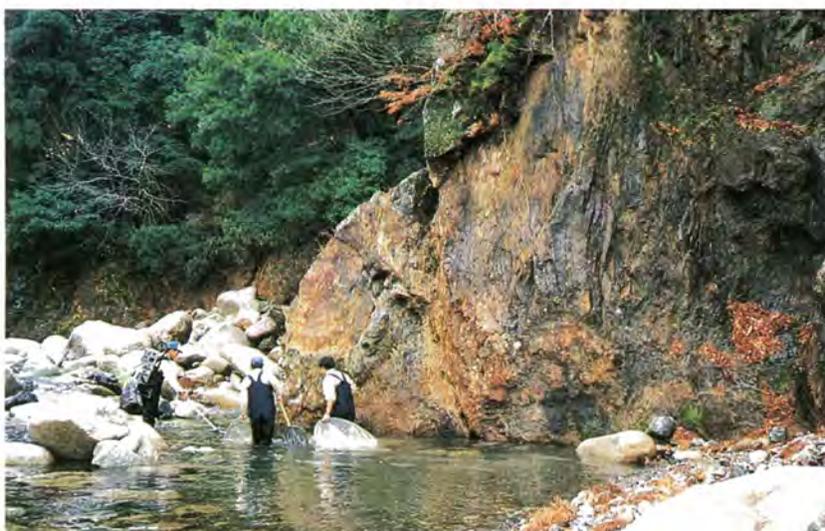


写真 2

【河川上流調査】

愛知川

1994. 12. 12

遊漁のため、イワナ、アマゴ、アユなどを放流している漁業権漁場内であり、イワナ、アマゴ、アユのほか、アジメドジョウやカジカ、カワヨシノボリなどが採集された。



写真 3

【河川上流調査】

石田川

1994. 11. 15

河川での採集は主にエレクトリックショッカーによった。



写真 4

【河川上流調査】  
大原川  
1994. 6. 23

一部ピンづけや投網を併用して採集した。



写真 5

【河川上流調査】  
高時川  
1994. 8. 9

必要な標本以外は、現地で種判別、個体測定をして再放流した。



写真 6

【河川上流調査】  
石田川  
1994. 11. 15

河川上流の代表的な魚類であるイワナ。



写真 7

【河川中・下流調査】  
愛知川中流  
1994. 7. 8

河川の護床ブロックでは  
コイ科稚魚やハゼ科の魚  
類が多数採集された。



写真 8

【河川中・下流調査】  
愛知川中流  
1994. 7. 7

本流と並行してヨシ群落  
内を水が流れており、比  
較的緩流部を好む魚類も  
多数採集された。



写真 9

【河川中・下流調査】  
瀬田川  
1994. 7. 11

河川中・下流ではアユ、  
オイカワ、アブラハヤな  
どが多数採集された。



写真 10

【内湖調査】  
西の湖  
1994. 7. 7

内湖での水生生物の採集は主に小型定置網によつた。



写真 11

【内湖調査】  
西の湖  
1994. 7. 7

小型定置網、1統、1昼夜で採集された。



写真 12

【内湖調査】  
余呉湖  
1995. 2. 7

魚が動いて入るのを待つ採集法のため、冬期は種類数、個体数ともに少ないが、余呉湖ではワカサギが大量に採集された。



写真 13

【内湖調査】  
伊庭内湖  
1995. 1. 25

小型定置網は、ヨシや水草帯から垣網をのばして設置した。



写真 14

【内湖調査】  
伊庭内湖  
1995. 1. 25

ブルーギル、モツゴなどが採集された。



写真 15

【内湖調査】  
堅田内湖  
1995. 1. 18

夕毛網による採集。  
水草の茂みの中に小魚や稚魚が多数生息していた。

写真 16



【琵琶湖沿岸調査】

新旭町沿岸

1994. 12. 7

琵琶湖沿岸における採集はヨシ群落内では小型定置網により、ヨシ群落外では写真のように小型底曳網によった。

写真 17



【琵琶湖沿岸調査】

新旭町沿岸

1994. 12. 7

一定の速度で人力で網を曳くのが大変であった。



写真 18

【琵琶湖沿岸調査】

新旭町沿岸

1994. 12. 7

水草に混じって、稚魚やエビ類が採集された。



写真 19

【エリ標本採集】  
彦根市磯田地先  
1994. 5. 24

エリのツボ揚げ時に同行して、漁獲種、個体数を記録させてもらった。個体数が多い場合は、目分量である。



写真 20

【エリ標本採集】  
中主町吉川地先  
1994. 7. 12

同上



写真 21

【エリ標本採集】  
草津市山田地先  
1994. 5. 31

アユの漁獲が主目的であるが、ヨシノボリ、ウキゴリ、ホンモロコなどが漁獲された。ヌマチチブ、ブルーギルも多かった。



写真 22

【琵琶湖沖合調査】  
彦根市沖合  
1994. 11. 19

琵琶湖沖合は漁業専用の  
沖曳網（底曳網）により、  
採集した。



写真 23

【琵琶湖沖合調査】  
長浜市沖合  
1994. 11. 19

水深20mの地点であるが、  
オオクチバスやブルーギル  
が採集された。



写真 24

【フカサギ産卵調査】  
知内川下流  
1995. 4. 13

1994年夏期のエリ漁、秋  
期の沖曳網漁で急に混獲  
量の増えたフカサギは、  
1995年の早春に河川下流  
での産卵が確認された。



写真 25

【補完調査】  
ヤマメ  
1995. 6. 7

1994年の定点一斉調査では採集できなかった。滋賀県下では限られた地点にしか生息していない。



写真 26

【補完調査】  
カワバタモロコ  
1995. 4. 24

同上



写真 27

【補完調査】  
タンカイザリガニ  
1995. 6. 23

同上



写真 28

【補完調査】  
八田部川  
1995. 5. 26

水草が茂り、緩やかな流れのある小河川。このような河川も多種多様な水生生物が生息している。



写真 29

【補完調査】  
八田部川  
1995. 5. 26

カフヒガイを対象に、多くの小河川を調査したが、採集することができなかった。写真はビワヒガイ。



写真 30

【従来琵琶湖に生息していなかった魚類の採捕通報記録】  
ガーパイクの一種  
1994. 5. 21

大同川河口部で刺網により1尾が採捕された。  
全長 384mm 体重 121g

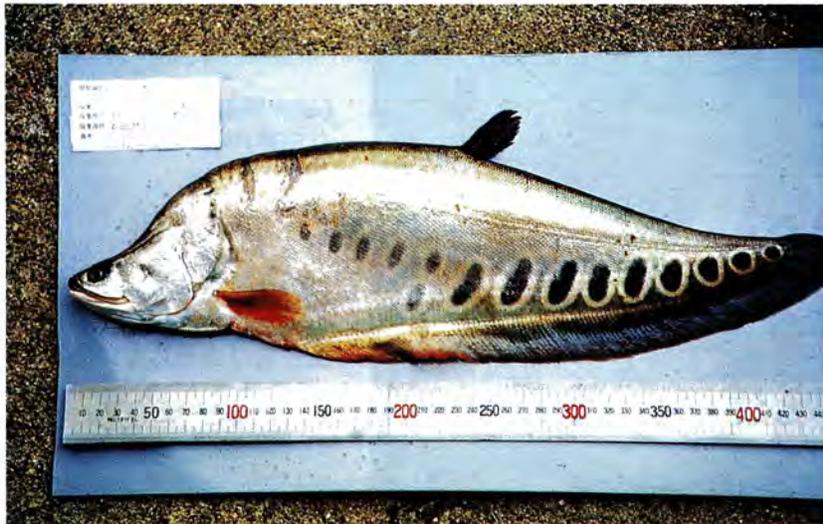


写真 31

【従来琵琶湖に生息していなかった魚類の採捕通報記録】  
クラウンナイフフィッシュ  
1994. 9. 22

愛知川河口部で刺網により1尾が採捕された。  
全長 440mm 体重 744g



写真 32

【従来琵琶湖に生息していなかった魚類の採捕通報記録】  
クルメサヨリ  
1995. 11. 20～12. 11

琵琶湖沿岸の各地のエリ  
で、約20日の間に9尾の採  
捕通報があった。  
全長 118～147mm  
体重 85～127g



写真 33

【従来琵琶湖に生息していなかった魚類の採捕通報記録】  
コクチバス  
1995. 10. 26

マキノ町地先のエリで1尾  
採捕された。  
全長 386mm 体重 900g